

学校通信

1月号

平成28年1月22日
美咲町立美咲中央小学校

3学期が始まり、2週間が過ぎました。1/8の始業式は、おたふく風邪などのために、全員そろってのスタートとはなりませんでした。現在では、お休みなども徐々に減り、学校での生活も落ち着いてきているところです。

学校の目指す子ども像について

【傘立ての傘から見えること】

これは、何の写真かわかりますか？。ご覧の通り、傘立てを撮ったものですが、ここに、本校が目指している子どもの姿が、現れているのです。



気付いていただきたいのは、傘のしまい方です。どの傘も、きちんと丸めて(巻いて)留められて、立てられています。美咲中央小学校のすばらしいところの一つです。

どの学年も、きちんと傘を丸めて(巻いて)留めて、傘立てに立てているのです。

この一見当たり前に見えることも、毎回きちんとするとすると、実はなかなか難しいことなのです。そして、この当たり前のこと

が「ルールやマナーを守る」という規範意識や、「相手を思いやる」という温かい心を育てることにつながっているのです。

【思いやりのある子 ~ 本校が目指している子ども ~】

ぬれた傘を丸める(巻く)のは、冷たいでしょう。手もぬれてつらいでしょう。しかし、それをいやがって、丸めず(巻かず)に立てると、傘は開いてしまって、後から来る人は傘を立てることができません。(病院や公民館などで、「きちんと閉じていない傘が入っていて、自分の傘を入れられない。」という困った経験をした方も多いでしょう。そんなことを考えると、自分の手をぬらしながら、冷たい思いをしても、傘をきちんと巻いて立てている子をほめてやりたいです。誇りに思います。)

「傘をきちんとしまえる子」は、実は「思いやりのある子」につながっているのです。傘に限らず、日頃、私たちが気をつけているマナーやルールは、みんなが気持ちよく過

ごしていく上での約束事です。こうした約束事は、「思いやる」という心に支えられていなければ、形だけの冷たいものになってしまいます。

「思いやり」というのは、人に親切にすることや優しくするという直接的なことだけを指しているのではなく、一見目立たない、当たり前、毎日の生活や振る舞いの中にも、隠されているものではないでしょうか。



【美咲中央小学校の目指す子ども像】

美咲中央小学校には、3つの目指す子ども像があります。

「**思いやりのある子**」「**明るく元気な子**」そして「**進んで学ぶ子**」です。学校の目指す教育の方向を、子どもの姿で表したものです。学力向上もさることながら、この3つの方向で、子どもを育てていくことを最も大切なことと考えています。日々の指導も、この3つの姿を目指して行っています。傘立ての傘の指導では、ルールを守ることだけでなく「思いやりのある子」を育てることにつなげていきたいと思っています。



ところで、美咲中央小学校に「傘をきちんしまうことのできる子」が多いのは、学校の指導だけでできるようになったものではないと思っています。ご家庭でも指導（しつけ）をしっかりしてくださっているからだと思っています。家庭の教育力の高さ、大きさを感じます。

おうちの方の指導（しつけ）と、学校でめざす方向（子どもの姿）がそろっているから、写真のような、すばらしい傘立ての状態が実現できるのだと思っています。

ですから、おうちの方も、是非、美咲中央小学校の目指す3つの方向（子ども像）を知っておいていただき、子どもたちをそうした面からも見てくださるとありがたいです。

知っておいていただくことが、ご家庭と力を合わせることにつながり、美咲中央小学校の子どもたちをいっそう素晴らしい子ども、「思いやりのある子」「明るく元気な子」「進んで学ぶ子」を育てていくことになっていきます。

【**当たり前のことを、きちんとしている子を見つけ**て】

私たち大人は、当たり前のこと（「傘をきちんしまう」「朝自分で起きる」「返事をする」「宿題をする」など）を、きちんとしている子どもの姿の中に、「思いやる心」「自主性」「責任感」といったものの芽を見つけ、気付かせてやりたいものです。いつもいつもというわけにはいかないかもしれませんが、当たり前のことをきちんとしている子どもをほめ、その価値を伝えてやりたいものです。

今月は、雪や雨の多い天気が続くような予報です。おうちでも、傘や靴のしまい方などの話題から、ルールやマナー、思いやりというような話につなげ、お子さんをほめる機会、励ます機会を持っていただければ、ありがたいです。